



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6407 URL https://www.ckd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥岡 克仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹澤 正 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	120,138	14.8	16,172	22.2	16,164	22.1	11,228	22.0
2022年3月期第3四半期	104,612	38.3	13,237	197.6	13,236	195.8	9,204	212.7

(注) 包括利益2023年3月期第3四半期 10,984百万円(5.6%) 2022年3月期第3四半期 10,406百万円(106.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第3四半期	円 銭 168.39	円 銭 —
2022年3月期第3四半期	138.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第3四半期	百万円 179,749	百万円 115,179	% 64.1
2022年3月期	172,514	109,571	63.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 115,179百万円 2022年3月期 109,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 —	円 銭 39.00	円 銭 67.00
2023年3月期	—	42.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	12.5	20,500	14.7	20,550	13.9	14,000	11.4	209.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	67,909,449株	2022年3月期	67,909,449株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,217,852株	2022年3月期	1,234,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	66,685,123株	2022年3月期3Q	66,640,409株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2023年2月10日に機関投資家・アナリスト向け説明会を電話会議にて開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染対策と社会経済活動の両立による制限緩和を背景に、景気は緩やかに回復してまいりましたが、原材料価格の高騰や半導体をはじめとする部品の供給制約などの影響がみられました。

また、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー価格の上昇、円安の影響による物価の上昇などから景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

設備投資は、企業収益の持ち直しや環境などの成長分野への取組みにより増加傾向となりました。また、製造業全般における自動化投資や電子産業における情報通信技術の用途の拡がりを背景とした投資は継続して行われ、堅調に推移いたしました。

海外経済では、欧米で先行きの景気見通しに不透明感はあるものの、企業の設備投資に底堅さがみられました。東南アジアでは、活動制限が緩和される中、経済活動の再開が進み、輸出の増加とともに景気の回復が続きました。中国では、ゼロコロナ政策などにより市場全体の設備投資が伸び悩む中、半導体や電池産業を中心とした投資は継続いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高120,138百万円（前年同四半期比14.8%増）、営業利益16,172百万円（前年同四半期比22.2%増）、経常利益16,164百万円（前年同四半期比22.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,228百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

産業機械では、リチウムイオン電池製造システムの売上高が増加したものの、三次元はんだ印刷検査機の売上高は減少いたしました。また、自動包装システムでは、薬品向けの売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は10,432百万円（前年同四半期比10.2%減）、セグメント利益はセールスマイクスの変化により、1,063百万円（前年同四半期比37.1%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、データセンターや車載向け半導体の需要を背景に、半導体製造装置向け売上高が増加いたしました。また、工作機械向けや環境対応車に関連した製造設備向け売上高は底堅く推移いたしました。

海外市場では、半導体や電池産業を中心に投資が継続した中国、半導体設備投資が堅調だった韓国や台湾などで売上高が増加いたしました。また、設備投資に底堅さがみられる欧米やコロナ禍からの回復が続いた東南アジアの売上高も増加いたしました。

その結果、売上高は109,705百万円（前年同四半期比18.0%増）、セグメント利益は売上高増加に円安傾向による為替の影響も加わり、18,478百万円（前年同四半期比27.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7,234百万円増加の179,749百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、売上債権、棚卸資産及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,626百万円増加の64,569百万円となりました。これは主に、未払賞与及び未払法人税等が減少したものの、仕入債務、賞与引当金及び預り金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,607百万円増加の115,179百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加の64.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、足元の為替状況を考慮し、第4四半期の為替レートを円高方向に修正した影響はありますが、部材や原材料の供給制約緩和による生産性改善などを織り込み、2022年11月11日に公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、2023年1月1日から2023年3月31日までの期間における為替レートは、第2四半期決算発表時点から見直し、1米ドル140円から125円といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,527	24,788
受取手形、売掛金及び契約資産	28,702	29,909
電子記録債権	5,961	6,736
営業未収入金	243	293
商品及び製品	10,468	11,073
仕掛品	4,159	5,905
原材料及び貯蔵品	30,135	37,175
その他	2,044	2,382
貸倒引当金	△55	△55
流動資産合計	116,188	118,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,510	24,932
その他（純額）	22,509	24,433
有形固定資産合計	44,019	49,366
無形固定資産	1,107	1,392
投資その他の資産	11,199	10,781
固定資産合計	56,326	61,540
資産合計	172,514	179,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,354	23,664
電子記録債務	4,387	5,699
短期借入金	11,735	11,462
未払法人税等	3,908	1,762
賞与引当金	495	2,119
その他の引当金	388	467
その他	12,233	10,137
流動負債合計	53,503	55,313
固定負債		
長期借入金	5,634	4,397
その他の引当金	2	2
退職給付に係る負債	458	481
その他	3,344	4,375
固定負債合計	9,439	9,256
負債合計	62,942	64,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	16,364	16,398
利益剰余金	75,440	81,247
自己株式	△867	△856
株主資本合計	101,954	107,805
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,274	3,022
為替換算調整勘定	4,429	4,395
退職給付に係る調整累計額	△85	△44
その他の包括利益累計額合計	7,617	7,373
純資産合計	109,571	115,179
負債純資産合計	172,514	179,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	104,612	120,138
売上原価	74,308	84,949
売上総利益	30,303	35,188
販売費及び一般管理費	17,065	19,015
営業利益	13,237	16,172
営業外収益		
受取利息	14	66
受取配当金	139	205
持分法による投資利益	3	-
補助金収入	69	100
その他	219	292
営業外収益合計	444	664
営業外費用		
支払利息	165	238
デリバティブ評価損	76	93
為替差損	170	124
その他	33	217
営業外費用合計	446	673
経常利益	13,236	16,164
特別利益		
段階取得に係る差益	-	62
補助金収入	176	21
その他	3	-
特別利益合計	180	83
特別損失		
固定資産圧縮損	142	21
その他	81	4
特別損失合計	224	25
税金等調整前四半期純利益	13,192	16,222
法人税、住民税及び事業税	3,471	4,264
法人税等調整額	491	729
法人税等合計	3,962	4,993
四半期純利益	9,229	11,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,204	11,228

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	9,229	11,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	136	△251
為替換算調整勘定	1,050	△33
退職給付に係る調整額	△10	41
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	1,176	△243
四半期包括利益	10,406	10,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,382	10,984
非支配株主に係る四半期包括利益	24	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース」(2016年2月25日。以下「ASU第2016-02号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

ASU第2016-02号の適用により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,621	92,991	104,612	—	104,612
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	88	88	△88	—
計	11,621	93,079	104,700	△88	104,612
セグメント利益	1,689	14,492	16,182	△2,944	13,237

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,944百万円には、セグメント間取引消去19百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,963百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,432	109,705	120,138	—	120,138
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	107	107	△107	—
計	10,432	109,813	120,246	△107	120,138
セグメント利益	1,063	18,478	19,541	△3,368	16,172

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,368百万円には、セグメント間取引消去23百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,391百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	10,745	△11.6
機 器 部 門	110,900	+17.3
合 計	121,645	+14.0

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	13,250	+22.2	15,817	+35.1

- (注) 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	10,432	△10.2
機 器 部 門	109,705	+18.0
合 計	120,138	+14.8

- (注) セグメント間取引については、相殺消去しております。